

CLUB HARLEY

珠玉のカスタム集結
40ページ増量特大号!!



毎月14日発売
クラブ・ハーレー
定価 980yen

2013年11月号(毎月14日発売)
10月12日発売
第13巻第11号通巻149号

11 2013
November
Vol.160

Ride the HARLEY-DAVIDSON.

走るぜ、
アメリカ!

まだ見ぬ道が呼んでいる。

とじ込み付録
稲妻フェスティバル
2013
公式ガイドブック
付き!!



[第2特集]

ハーレー2014年モデル
華麗なる
進化の全貌

Thanks
40th
Anniversary
徳出版社

Builder's Pick

BAD LAND DIABLO

ビルダーズピックを受賞したのはバッドランド「DIABLO」。エンジンはS&Sのパワーユニットをインストールし124ciに。オイルポンプ、カムを強化し、ビッグモーターのポテンシャルを引き出している。外装各部をカーボンやメタルで製作し、エンジン、外装ともに徹底的に作り込まれたハイエンドなマシンである



124ciのビッグエンジンに加え、ヘッドライトやエンジン回りの各パーツもカーボンで製作されている



今年のアワード受賞車両はこの2台!!



Custom Fan Award

TRIJYA BIG BANG

来場者からの投票が最も多かったのはこちらの車両。'02年式FLSTFのストックエンジンにスーパーチャージャーを搭載。キャブ車だが、ポンプを内蔵させて安定した混合気を送り込めるように工夫し、パワフルな走りが楽しめるようになっていた。細部まで作り込まれた秀逸なボディーワークを堪能してもらいたい一台



ブルーを貴重とした外装のアクセントとして、タンクとサイドカバーにはリアルフレームスのペイントが。曲線を描くリアフェンダーに沿うように取り付けられたウインカーは見るものを驚かせた

場では本誌でお馴染みのブランドやパーツメーカーなどが集まり、ファンにはたまらない1日だけの贅沢なショッピングスポットと化した。今回のカスタム車両展示では、出展者が他のバイクを採点し、その合計点から選出されるビルダーズピックと、来場者が最も気に入ったバイクに投票し、その合計数で選出されるカスタムファンアワードのふたつのアワードが用意され、受賞者は上記の結果となった。ハーレー乗りのトレンドが詰まったこのイベントから最新ハーレー事情を読み取ってほしい。



今回、カスタム車両を展示したスタジオコーストは普段クラブイベントにもよく使用されている会場で、他のカスタムショーにはない独特な空間を演出した

最先端のカスタム車両が来場者を釘付けにした。
昨年9月、「昭和の森」の倉庫で幕を開けたハーレーオンリーのイベント、クラブハーレーガレージ、今年9月15日スタジオコーストと、その向かいに位置するスナップオン本社で行われた。カスタム車両が展示されたスタジオコーストには、誌面に登場した車両はもちろん、このイベントが初お披露目となる車両も展示され、カスタムハーレーファンを満足させた。スナップオン側の会

最新カスタムハーレーが スタジオコーストSTUDIO COASTに大集結。

ハーレーオンリーのカスタムショー、今回は高年式の車両が多く、細部まで作りこまれたチョッパーが目を引いた。
ここでカスタムのトレンドを学ぶべし!



KEN'S FACTORY

TEL052-354-6122 www.kens-factory.com

Back in Black

2000cc超のビッグエンジンを搭載しながらも、タンデムできるようリアのフェンダーストラットを強化。ソフトレール式のスイングアームを採用するなど、デイリーユースできるカスタム



SELECTED CUSTOM MOTORCYCLES

TEL045-252-2933 www.selected.co.jp

Qlazer

チョッパーガイズのFXRフレームに124キュービックイン치의ツインカムを搭載。モノサスに加え、ハイエンドパーツで固めたスタイリングと走りを両立させた新時代チョッパー



SELECTED CUSTOM MOTORCYCLES

ROYAL RILLS

'08年式FLSTCがベース。105周年記念カラーの外装を美しくストレッチした、セレクトッドを代表するコンプリートカスタム、ロイヤルシリーズの最新作。完成したばかりの作品初公開!

ROYAL WOLDS

クロムメッキ加工された面に、ペイントを施しフィニッシュした外装を始め、チョッパーらしいシングルクレイドルフレームやダイヤモンドカットされたエンジンなど、隙のない作り込み

ROYAL KNIGHTS

オーナーの紳士のな人柄をイメージしてFLSTFをベースに製作。乗りやすさとデザインを両立させた1台。セレクトッドのコンプリートである、「ロイヤル」の称号を冠した一台



BULL ORIGINAL

TEL 045-431-3456
www.mc-bull.com/



2007 XL1200R

ポートテールを現代的にリデザインしたオリジナルカウルが目玉を引く。リアサスをローダウンした車両にもボルトオンで装着できるよう、タイヤとのクリアランスも十分に考慮されている



MAIDS MOTORCYCLES

TEL03-5305-8380
www.maids-mc.com

2005 XL1200R

オリジナルのポートテールに、16インチのリアサスやブロックタイヤ、バーハンドルに加え、RSDのパーツをバランスよくチョイス。ダートスタイルに現代的なテイストをミックス

1979 FX

街で快適に乗れることを前提にエンジンはあえてハイパフォーマンスなものではなく、シヨベルらしい味わいのある走りを残しながら、5速ミッションを組み合わせた玄人好みのカスタム



TRIJA

TEL072-662-3105
www.trija.com/

WATATSUMI (海神)

大径26インチホイールのフロントながらも、快適に走行できるように車体バランスに徹底的にこだわった。サーフィン好きなオーナーのイメージに合わせボディはブルーを基調とした

Gaudi

建築家アントニオ・ガウディが好きなオーナーの希望によりサグラダ・ファミリアをイメージして製作。金属工芸の技術を駆使してカットングを施したタンクやフェンダーが独創的



HOT-DOCK CUSTOM CYCLES

TEL03-3926-0220
www.hot-dock.co.jp

WAR FIGHTER

アメリカ海軍で採用されていた戦闘機「F4ファントム」をイメージして製作された。ウェザリング加工されたリベットがダミーで打ち込まれるなど、クラフト感あふれる外装が秀逸

なんと大阪から
自走で参加!!



④ 垣内賢一さん
2002 FXSTS

トライジャでフルカスタムしたスプリングソフトイルに乗る垣内さん。イーブルアクトのデニムとVANSのスニーカーと、軽快なファッションでライディングするのが好きなんだそう

③ フジシロさん
2012 XL1200X
ツーリング先の北海道から直行してきたというフジシロさん。タンクのエイジングペイントしたカラーリングがお気に入りだそう

② 野田和義さん
2012 FXS
RSD製マフラーが気に入っているという野田さん。「ハーレーに乗りはじめて6カ月。まだわからないことばかりです(笑)」

① 吉田雄二さん
2011 XL1200L
WWC製オリジナルカラーのXL1200Lを所有。実はパパサンにのる吉田さんとご夫婦で、いつも2人で一緒に走っている

● 小林裕明さん
雨の中を2010年式XL1200Lで来場。shcottのワークシャツに児島ジーンズのダブルニーパンツ、LLビーンのブーツをセレクトした

クラブハーレーガレージに集まった

HARLEY LOVER SNAP!!



● 金村直樹さん
1991 FLSTC

純正のヘリテイジソフトイルクラシックが好きなのでカスタムはしない主義。ハーレー仲間とツーリングに行くのが楽しい!

● すーさん
2001 XL1200S

KERKER製マフラーにオーリンズ製サスペンションを装備したスポーティな仕様のスポーツスター。ライディングにはアイアンハートのデニムを愛用が多いとか

午前中は悪天候だったにも関わらず、自走で来場してくれた気合の入ったライダーや、ファッションなお客さんを会場でピックアップ。ショーバイクとはまた別物の、リアルなストリートスタイルをチェックせよ!!

走りを意識したカスタムがクール。



● 新谷淳司さん
2013 FLSTN

ソフトイルデラックスの日本上陸100周年記念モデルに乗る新谷さん。貴重な限定モデルは、ライトのバイザー以外純正をキープ

● 伊藤武志さん
SNOIDのボーリングシャツが似合う伊藤さん。雨で愛車では来場しなかったが、セレクトでカスタムした'06年式FLHRを所有

